

一般社団法人

# 香川県作業療法士会ニュース

発行：(一社)香川県作業療法士会広報部  
事務局：〒769-0205 香川県綾歌郡宇多津町浜5番丁62-1  
四国医療専門学校 作業療法学会内  
(一社)香川県作業療法士会事務局

URL:<http://www18.ocn.ne.jp/~k-ot/> E-mail:[kagawa-ot@star.ocn.ne.jp](mailto:kagawa-ot@star.ocn.ne.jp)

## 作業療法士としての仕事

監事 五味 陽子

1979年4月現在は閉校となった国立善通寺病院附属リハビリテーション学院が香川県に開校となり、3年後、学生も作業療法士として社会に旅立つこととなりました。当時、香川県内の作業療法士は主として精神病院等で働く10数名のメンバーでした。作業療法の認知度の低さを感じた時代であり、先輩方の知恵を借りながら、自分の仕事を行い伝えていくことが精一杯の啓発であったように思います。当時、日本作業療法学会では作業療法の核を問う議論が交わされており、自信のなさや疑問も多く戸惑いの日々であった私にとっては意味が深く、興味深いものでした。

2017年4月有資格者84947名、会員55904名、2017年度確定組織率65.8%と示されており、香川県下でもほぼ同様の様子が伺えます。現在の作業療法の社会に対する浸透度は如何なものか。

今年5月に日本作業療法協会より作業療法の定義が示されました。

《作業療法は、人々の健康と幸福を促進するために、医療、保健、福祉、教育、職業などの領域で行われる、作業に焦点を当てた治療、指導、援助である。作業とは、対象となる人々にとって目的や価値を持つ生活行為を示す。》とあります。

卒後、数十年、幸福と思うには心身共に健康であることと常日頃思います。治療や援助の際、個々人によって価値観も異なり、多種多様の仕事や生活環境も異なっています。個別的な目的や価値は千差万別であり、目的に添っての支援や援助を行う中で我々も多岐に渡っての知識や技術が必要です。日頃、医療・地域・介護予防などに関わる中で、多くの人生の先輩方と関わり自己研鑽の機会を得ています。個人の目的に添って評価・支援をしていく為、自己研鑽を忘れず後輩に伝えていくことも、作業療法士を選んだ私たちの仕事だと考えます。

# 先輩の声

No.32 滝宮総合病院 鎌田 雄大  
(10年目)



OTになって10年が経とうとしています。まだまだ10年ですが、様々な患者様やご家族様、関係者、スタッフとの出会いがあり、今のOTとしての自分があると感じています。

自身の年齢や境遇と似ているからか、近年30～50代のCVA患者が増えてきている印象をもっています。社会的にまだまだ働き盛りであり、夫、妻、父親、母親、職場での立場など、多くの社会的な役割がある中での発症はどんな気持ちになるだろう…と考えることが増えました。そんな時に以下の患者様との出会いがありました。

CVA発症により、絶望感や将来への不安等が強かった方でしたが、急性期から回復期へ移行するにつれ、身体機能が徐々に回復し、職場復帰できる可能性が高まってきました。初期より職場復帰を強く望んでいたため、然るべきタイミングで職場関係者と連絡をとり、実際の職場環境で職務動作練習や動作確認を職場関係者や両親と共に実施しました。下の写真では表情はわかりませんが、生き生きとした表情でハツラツと動き回っていました。職場関係者や両親も実際に見て確認することができ、現職復帰に対して安心・納得できた様子でした。

この方を通じて、仕事ができる喜びや自身がしたいことができる喜び、社会参加（趣味、仕事、遊び等）は何事にも代えがたいことであり、それに関われる仕事であるOTはやりがいがあると改めて思いました。

まだまだ経験不足ではありますが、一人一人の患者様との出会いや思いを大切に、今後も精進していこうと思っています。



## No.33 まるがめ医療センター 山根 仁美



はじめまして。まるがめ医療センター作業療法科の山根仁美と申します。まるがめ医療センターに入職して6年目となり、現在は回復期病棟にて日々業務を行っております。作業療法士としては、数年になりますが、今回、このような機会をいただき、これまでの色々な事を思い出し、立ち止まり振り返ると、医療情勢や患者様の生活状況は本当に大きく変わってきたと改めて感じています。それと同時に、自分自身についても振り返る機会となりました。

昔の話をして申し訳ありませんが、私が新人の頃、まだ、「回復期病棟」はなく、役割としては今の回復期の病院によく似た「リハビリテーション病院」で勤務していました。運動器疾患の患者様は稀で脳血管疾患の患者様がほとんどで、入院期限はなく、その当時は半年以上入院していることは珍しくありませんでした。先輩の先生方はもちろんご存じかと思いますが、リハ算定は「1単位=20分」ではなく「複雑・簡単」、紙カルテでレントゲンはフィルムの時代、何か調べものをするのは本や文献のみでした。今振り返ると、とてもアナログで何をするにもすごく時間がかかっていたように思います。良くも悪くも、逆にゆっくり時間をかけて色々な事が出来ていたようにも思います。

そんな時代から十数年…診療報酬改定を重ね、ここ数年は「地域包括ケアシステム」が構築されつつあり、働く現場（病院・施設・事業所・その他）の役割が明確にされてきています。色々なシステムが導入され、効率的かつ便利にはなってきましたが、仕事の現場では必要書類がどんどん増え、患者様の流れも早く、何か追いつめられる様な気持ちになることもあります。また、作業療法の対象となる患者様の疾患は幅広く、高齢化もあり多くの疾患を重ねてお持ちの方がほとんどです。お1人暮らしや高齢のご夫婦世帯も驚くほど増えてきました。その為、担当した患者様が地域に戻り、また地域で生活を継続していく中で、生活を支援する作業療法士に求められる知識や技術、医療サービス、コミュニケーション能力等は非常に高く、多く、内容も深くなっているように感じます。

色々なことを、とりとめもなく書いてしまいましたが…皆様も「本当に仕事は大変…」と思うことがあるかも知れません。「大変」という内容は人それぞれだと思います。例えばですが、小さい範囲のことを言うと、「この分野は得意」「この部分については詳しく勉強した」「頑張って乗り越えた」と思えることを作り増やしていくことがとても大事だと思います。私自身、今回の振り返りを機に初心に戻り、今後とも目の前の患者様から学ぶ気持ちを持ち続け、日々の業務に取り組んでいきたいと思いました。

## 平成30年度 認知症の当事者の声を聞く会に参加して

いわき病院 小松 博彦

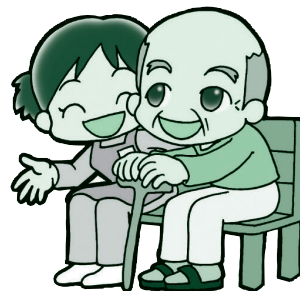
①認知症への理解を深めるための普及・啓発の促進、②認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供、③若年性認知症施策の強化、④認知症の人の介護者への支援、⑤認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進、⑥認知症の予防法、診断法、治療法、リハビリテーションモデル、介護モデル等の研究開発及びその成果の普及の推進。新オレンジプランで示されたこれら6つの施策を内包する7つ目の柱、⑦認知症の人やその家族の視点の重視。

長い間、パターンリズムが根底にあった医療の世界に身を置く者として、当事者の話に耳を傾けること、その家族の話に耳を傾けることの基本的態度を改めて見直す機会があった。

「認知症の当事者の声を聞く会」に参加した。認知症施策についての講演の後、綾川町「育育広場」「ほっと歓伝え隊」としての取り組みが紹介された。当事者の方とそのご家族、取り組みに参加、協力した人たちの思いも紹介された。綾川町の取り組みで一貫して行われていたことは、当事者やご家族の話聞き続けるということだった。そして、その思いを実現するために、「大きなことをするんじゃなく、この団地の中で何かができればいい」という姿勢だった。

ニーズを把握して、実現可能なことを確実に行っていく。その仕掛けと実行の妙はまさしく目から鱗だった。リカバリーやエンパワメントの実践がそこにあり、新オレンジプランの7つ目の柱が端的に実践されていた。

機会があれば、会員の皆さんもぜひ参加していただきたい。





# 瓦町健康ステーション 健康長寿講座に参加して

いわき病院 認知症デイケア「きらく」 柳原 隆史

平成30年10月20日、65歳以上の県民を対象とした瓦町健康ステーション健康長寿講座が開催されました。医師、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、看護師が順番に講座を開いていきます。大きな講演テーマは『認知症について』でした。

当日は50名を超える人が集まり、中には去年も参加したという方、シリーズを通して参加する予定の方もおられ、認知症や健康寿命といった事柄に対する関心の高さが伺えました。

今回の内容としては1. 認知症の基本的な知識、2. 作業療法士とは、3. 認知症に対するリハビリテーションとは、4. 認知症予防について、大きく分けてこの4項目について話をさせていただきました。やはり認知症予防や認知症に対するリハビリといった点に大きな関心が向いていました。予防のためのトレーニングとして私が日々の臨床で行っている事を紹介した際には、参加者の方々が一緒になって取り組んでいただき、笑いや会場内での交流が自然と生まれる活気のある場となりました。

そんな中で参加された方から頂いた質問です。

「高齢になり島暮らしの不便さから市内へ越してきました。認知症には日々の運動や仲間作りが大切と思い積極的に運動や研修へ参加しています。ただ、研修に参加してみてもなかなか他の参加者の皆さんと話しをすることも無く終わってしまいます。何か仲間作りのような事が出来る場所や催しはありませんか？」

皆さんはどのように返事をしますか？

ここ数年で認知症を取り上げられる機会は非常に多くなっており、TVでも週に1度は認知症に関する番組が放送され、インターネット上でも認知症というワードが頻繁に上がってきます。どこからでも溢れている認知症に関する様々な情報の中で、地域が発信する認知症に対する情報の重要性、作業療法士はそれらの情報を扱い何を行っていくのか、当講座で話をさせていただき再考させていただく機会となりました。

# 1 人職場のOT

デイケア西高松 作業療法士 **山崎 里恵**

平成30年4月よりデイケア西高松で働いています。現在、理学療法士2名、作業療法士1名、介護福祉士2名での体制で、提供時間は3～4時間の半日タイプで運営しています。作業療法士としては一人職場となるため、身体機能面ばかり目を向けてしまいがちですが、生活自体に繋がるリハビリテーションの提供を目指しています。特に最近は認知症やMCIの方が増加しており、進行の予防に努めていく必要性が高いと日々の関わりで感じています。デイケアでは個別リハビリを20分、その他の時間をリハビリ機器やリラクゼーション機器、脳トレのプリント課題などを行ない、利用時間の最後に20分程度のレクリエーションを実施しています。現在、レクリエーションはセラピストが行っており、認知症予防のためコグニサイズを取り入れています。コグニサイズの選択はセラピストと相談しつつ試行錯誤しながら提供しています。



## No.17 病院紹介

高松平和病院

松本 雄治

香川県の特別名勝、栗林公園の東側に位置する当院は、1949年12月1日に創立しました。医療生協の病院として、基本方針に「患者の権利を守り、常に信頼される医療を提供します。」「健康づくり・明るく安心して暮らせる街づくりに貢献します。」「平和と医療・福祉を守ります。」の三つの柱を掲げ、地域に根ざした、そして地域から選ばれる病院を目指して運営しております。

当病院には、整形外科、外科、内科、消化器科、循環器科、呼吸器科、心療内科、小児科、乳腺外科、緩和ケア内科、リウマチ科、アレルギー科、病理診断科、リハビリテーション科等様々な診療科目があります。

中でも整形外科は、県内でも有数の人工関節の手術件数を誇っており、年間約350件の手術を当院副院長である真鍋医師が施行しております。

その為、術後早期からのリハビリテーションを必要とされる患者様が多く、そのニーズに答える為にも現在、リハビリテーション科では、OT9名、PT15名、ST2名の計28名の体制にてリハビリテーション業務を実施しております。

加えて、当院では、地域包括ケア病床26床と緩和ケア病棟21床を有しており、他院からの紹介入院や緩和ケアによる入院もあり、幅広い疾患の方が入院されるという特徴があります。

その為、作業療法士としての関わりは、急性期だけにとどまらず、維持期、終末期、在宅（訪問リハビリテーション）、小児（小児発達）等の様々な役割を持って日々リハビリテーション業務に励んでおります。

当院の作業療法士としての特徴は、上肢やハンドに特化した専門的なリハビリテーションではありません。ただ、様々な疾患や性格、様々な生活環境を持たれている患者様に対して、急性期から在宅までオールマイティーに診ることのできる作業療法士として一人一人が考え、悩み、工夫しながら患者様に合ったリハビリテーションを行っております。今後は、来る地域包括ケア時代に向けて、地域との関わりを増やしていきながら日々業務に邁進していきます。



↑「当院の作業療法士達です」

## MTDLP特設委員会からの活動報告

橋本病院 瀬瀬 功

平成30年8月30日(木)19時から三豊市立西香川病院にてMTDLP事例検討会が開催されました。3事例の発表で参加者は27名でした。今回の事例検討会では、グループワークにて事例登録に向けて確認する視点について話し合いました。事例についての不足点や良い点なども抽出し、内容が伝わりやすいものであるかも確認していきました。他病院のOTと意見を出し合いながら、MTDLPについて話合うことができ有意義な時間となったのではないかと思います。

今年度から香川県MTDLP特設委員会では、LINE@をはじめました。毎月1回程度MTDLPの情報を皆様にお伝えしたいと思います。ぜひぜひお友達登録をお願いします！

※このQRコードから登録が可能です。





## 連載企画 6 第一弾

## 学校で働く作業療法士

## 第 1 話

穴吹リハビリテーションカレッジ 廣永 大祐



皆さんは教員という職業に対してどのようなイメージを持たれているでしょうか？私は臨床で働いている時は、実習指導者として学生に関わっていましたが、学生はみな個性的でそれぞれの魅力があり面白いと思う反面、関わり方や指導の方法などに悩むこともあり、教員は大変だなと思っていました。しかし実際、教員として働いていると、私が臨床場面で作業療法を行うに当たり、大事にしていたことと基本的には変わらないということに気付きました。それは信頼関係を築くこと、それと対象者の思いをかなえるため全力で支援することです。現在では私が大事にしてきたことを伝えられるよう、学生に作業療法を展開しています。上手くいかないことも多く、学生に気付かされることも度々ありますが、リハビリテーションを必要とされる方々の気持ちに寄り添える作業療法士になって欲しいと思い毎日学生と奮闘しています。



New!

## リレーエッセイ5

多田 奈津美

(高松赤十字病院)

安倍 まなみ

(医療法人社団研宣会 広瀬病院)

吉田 俊二

(キナシ大林病院)

当院は、高松西部地区の地域密着型急性期病院として、病床数245床を有しています。リハビリの対象患者様として、整形疾患や内部障害、難病の患者様など様々な疾病のリハビリに携わせて頂いています。昨年には、地域包括ケア病棟を開設し、急性期から在宅までスムーズな退院支援ができるよう、医師・看護師・ケアマネージャー等との連携を強化しながら、日々の臨床業務を行っています。

入職して5年、何度も入退院する患者様に会う事があります。再入院によりADLが低下していると、私自身の知識不足や経験不足を痛感します。患者様が自宅に帰り、生活する不安を少しでも解消できる作業療法は何か？患者様が求められている事を最短で達成できるリハビリは何か？これらを解決する為に、今は心臓リハビリテーション指導士の資格取得に向けて励んでいます。『きっと、なんとか、してくれる』そんなOTを目指して、自問自答しながら成長していきたいです。



## 「平成30年度 介護報酬改定に伴う説明会」

開催報告

制度対策部長 川崎 眞一

制度対策部では、平成30年6月10日（日）ユープラザうたづにおいて「平成30年度介護報酬改定に伴う説明会」を、講師に香川県健康福祉部長寿社会対策課在宅サービスグループ課長補佐大山和也様をお迎えして開催しました。参加者数は41名（内PT1名）と関心も高く、質疑応答の時間では多くの質問がありました。その場で回答をいただけなかった質問に対して、後日長寿社会対策課から別紙のとおり回答をいただきましたので、今後の参考にしていただけたらと思います。



## 「平成30年度 診療報酬改定に伴う意見交換会」

開催報告

制度対策部長 川崎 眞一

制度対策部では、平成30年9月26日（水）ユープラザうたづにおいて「平成30年度診療報酬改定に伴う意見交換会」を開催しました。この会は、「日々の業務の中で困っている事や、改善したいが良い方法が分からない」等各施設での問題点や課題点等について、普段話す機会の少ない他の施設のOTと意見交換する事で、少しでも解決や改善できる事を目的として開催しています。今回は医療と介護で共通の書式なった「リハビリテーション実施計画書」等について、参加者25名が2グループに分かれて意見交換を行いました。

開催後のアンケート結果では回答者数20名のうち、約80%の方が「良かった」等と、また、95%の方が「今後同様の会があれば参加します」との回答でした。この結果を踏まえ、会員の皆様のご意見を聞きながら今後も同様の会を継続していきたいと思っておりますので、ご協力お願い致します。





### 入 会

高津 悟史 (清水病院)  
新岡 拓 (しおかぜ病院)  
浮田 倫弘 (阪本病院)  
田村 綾香 (まるがめ医療センター)  
金倉 由美 (まるがめ医療センター)  
成行 朝美 (三豊市立西香川病院)  
高橋 真理 (滝宮総合病院)  
宇佐川雄太 (まるがめ医療センター)

### 退 会

菅田 未佳 (ブルースカイ松井病院)  
岡 千春 (しおかぜ病院)

### 異 動

久米健太郎 (穴吹リハビリテーションカレッジ) ▶西紋病院  
青野 佐代 (ブルースカイ松井病院) ▶介護老人保健施設 観音寺ケアセンター  
細谷 千裕 (社会福祉法人瑞祥会 真珠の湯) ▶自宅  
堺 大智 (太田病院) ▶訪問看護ステーションわかな  
池田 健人 (橋本病院) ▶自宅  
長尾亜紀子 (介護老人保健施設 松寿荘) ▶四国医療専門学校

### ■ (一社)香川県作業療法士会ニュース No.75 ■

編集長: 木村勇介 編集委員: 高橋優里・水口未紅・安藤瑞基・村上太気・善相原健史・瀬知杏奈  
大島祐輝・細谷かぐや・金倉由美・田村綾香・宇佐川雄太